

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

「読書の秋にちなんで」

秋といっても最近は秋の季節が短く感じます。今週は読書週間で、本校では朝自習の時間に読書を行います。私からも一冊の本と言葉を紹介します。

『論語』の中の「己(おのれ)の欲(ほっ)せざるところに人に施(ほどこ)すことなかれ」

論語は、今から二千五百年前に中国の孔子(こうし)とその弟子の言葉の記録です。この言葉は、今でも人々の生き方に多くの影響を与えています。いくつもある有名な言葉がありますが、その中で「己(おのれ)の欲(ほっ)せざるところに人に施(ほどこ)すことなかれ」を紹介します。

ある日のこと、孔子の弟子の一人である子貢(しこう)が、「ただ一言で、一生行ってゆくに値する言葉がありますでしょうか。」と尋ねました。孔子は、「それは、恕(じょ)だよ。」と答え、(恕というのは)自分が(人から)されたくないことは、人にもしてはならない(ということだよ)」と付け加えたとのことです。

「自分がされたくないことは、人にもしてはならない」の意味は、誰でもわかる簡単なことですが、実際に行うことはなかなか難しいことだと思います。人の命や物を奪うことなど大それたことをする人は滅多にはいません。しかし、相手の悪口をいう、機嫌が悪い時に八つ当たりをする、約束を守らない、自分勝手な行動をする。そんな風に考えていくと、「自分にとってしてほしくないこと」を全て人にしない人が世の中にどれだけいるのでしょうか。ほとんどいないのではないのでしょうか。この言葉を実行するということは、一生をかけても大変難しいことだと思います。けれども、難しいからと言ってできないわけではありません。相手の嫌がることをしない人は、世の中にたくさんいるような気がします。「自分にとってしてほしくないこと」を人にしないように心がけ、気をつけていくことが大切なのだと思います。

学級でも部活動の中でも、皆さんは、毎日人とかかわって生活をしています。その中では様々な感情がわき起ってきます。これはあたりまえのことです。時に人を憎む、いやになることもあると思います。そうしたときに上の言葉を思い出すことがあっていいかなと思い、紹介しました。

論語には他にも「職人が仕事をうまくやろうとすれば、まず道具を磨く」という言葉もあります。私たちに例えるなら、勉強(部活動)をがんばろうと思えば、まずその道具を大切にすることにつながるのではないかと思います。

私(校長)も上の言葉を読んで、反省することもあります。読書は時に自分の反省につながることもあれば、新しい知識を得ることもあります。ぜひ皆さんも、一冊でも多くの本に出会えることを願っています。